

平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市美術館	市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	市民の創造的な文化・芸術活動を支えるべく、地道な研究の成果と高度な専門知識に裏付けられた質の高い事業を展開するとともに、市民利用をさらに促進していくこと。	幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場、市民文化創造の拠点となること。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。 ・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。 ・首都圏の中で埋没することのない個性を備えた魅力ある美術館であること。 ・市民の文化・芸術の拠点として市の発展とともに成長する美術館であること。 ・現代から未来を志向し、国際的視野から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。 	【市民に身近な芸術活動の拠点】 <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の展示・制作の場 ・美術作品の制作指導等の実施
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、利用者の視点に立ったきめ細やかな施設運営など、住民サービス・利便性の向上により、さらに多くの市民に両施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。市としては、この制度導入効果を達成するため、指定管理者の企画運営により柔軟で多様な工夫が発揮されることや、専門性の発揮により、魅力・特色ある施設運営が行われ、さらなる来館者の増加に寄与されることを期待する。	
成果指標※	① 展覧会入場者数 ② 施設稼働率	① 利用者数（市民ギャラリー・いなげ） ② 利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘） ③ 施設稼働率
数値目標※	① 152,000人以上 ② 48%以上	① 34,000人以上 ② 11,000人以上 ③ 54%以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 （共同事業体の場合）		
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号	
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年）	
選定方法	非公募	
非公募理由	施設の設定経緯及び美術館としての機能、業務の特性等により、管理運営は同一団体が継続して担うほうが合理的かつ効率的であるため。	展覧会の企画や講習会の実施等に当たり美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）の管理に係る経験等も要求されるものであるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入	

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 千葉市美術館

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率
展覧会入場者数	152,000人以上	128,096人	84.3%
施設稼働率	48%以上	40.2%	83.8%

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	34,000人以上 (32,400人以上)	37,813人	111.2% (116.7%)
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	見直し前：11,000人以上 (10,800人以上) 見直し後：5,000人以上	7,111人	142.2%
施設稼働率	54%以上	58.2%	107.8%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。なお、旧神谷伝兵衛稲毛別荘の利用者数の数値は、平成29年度事業計画書において、耐震改修工事による休館（H29.9～H30.10）を見込んだことから、数値目標の見直しを行っている。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H29実績
友の会会員数（普通会员数）2,500人	1,445人
友の会会員数（賛助会員数）50人	29人(個人)、5件(法人)

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	266,697	283,890	実績－計画	0	
	計画	266,697	283,890	計画－提案	△ 17,157	過年度実績による電気料の精査のため
	提案	283,854	283,890			
利用料金収入	実績	47,304	40,047	実績－計画	△ 15,736	施設利用件数及び展覧会入館者数が見込みを下回ったため
	計画	63,040	58,913	計画－提案	3,124	展覧会入館者数を多く見込んだため
	提案	59,916	58,913			
その他収入	実績	22,384	17,853	実績－計画	△ 5,366	ミュージアムショップ及び図録販売の売上が見込みを下回ったため
	計画	27,750	25,900	計画－提案	1,600	ミュージアムショップ及び図録販売の売上を多く見込んだため
	提案	26,150	24,900			
合計	実績	336,385	341,790	実績－計画	△ 21,102	
	計画	357,487	368,703	計画－提案	△ 12,433	
	提案	369,920	367,703			

イ 支出

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	126,910	126,293	実績－計画	△ 5,047	人事異動や時間外勤務の縮減等により減額したため
	計画	131,957	129,238	計画－提案	1,800	給与改定により増額したため
	提案	130,157	127,984			
事務費	実績	50,186	40,286	実績－計画	1,283	光熱水費4,736千円増等によるため
	計画	48,903	61,678	計画－提案	△ 16,882	過年度実績による電気料の精査のため
	提案	65,785	61,113			
管理費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
委託費	実績	9,182	9,783	実績－計画	△ 85	
	計画	9,267	10,379	計画－提案	△ 1,306	旧神谷伝兵衛稲毛別荘耐震改修工事に伴い、清掃等の委託費が減ったため
	提案	10,573	10,415			
その他事業費	実績	146,819	142,171	実績－計画	△ 8,979	印刷製本費△4,254千円、委託費△4,393千円その他、節減に努めたため
	計画	155,798	156,317	計画－提案	3,955	展覧会の開催負担金増となったため
	提案	151,843	157,100			
本社費・共通費	実績	16,098	13,195	実績－計画	4,536	事務局の業務増によるため
	計画	11,562	11,091	計画－提案	0	
	提案	11,562	11,091			
合計	実績	349,195	331,728	実績－計画	△ 8,292	
	計画	357,487	368,703	計画－提案	△ 12,433	
	提案	369,920	367,703			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

別紙のとおり

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
自主事業収入	実績	1,780	1,760
その他収入	実績	0	0
合計	実績	1,780	1,760

イ 支出

(単位：千円)

費目		H29年度	【参考】 H28年度
人件費	実績	439	466
事務費	実績	40	46
管理費	実績	0	0
委託費	実績	60	222
使用料	実績	0	0
事業費	実績	662	1,734
利用料金	実績	109	37
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	119	113
合計	実績	1,429	2,618

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

別紙のとおり

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H29年度	【参考】H28年度
必須業務	収入合計	336,385	341,790
	支出合計	349,195	331,728
	収支	△ 12,810	10,062
自主事業	収入合計	1,780	1,760
	支出合計	1,429	2,618
	収支	351	△ 858
総収入		338,165	343,550
総支出		350,624	334,346
収支		△ 12,459	9,204
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

ア 千葉市美術館

評価項目	市の評価	特記事項
展覧会入場者数	D	
施設稼働率	D	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	B	
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	A	平成29年度事業計画目標数値：5,000人 (達成率：142.22%)
施設稼働率	B	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	削減額の主な要因は、美術館の電気料を実績にあわせて予算額を精査したことによることから、選定時の提案額と同額として評価。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
	(1) 人的組織体制の充実	C	C	
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務	C	C	
	施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
	(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免 利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実	C	C	
	利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施	C	C	
	施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
美術館について、利用者数を増加するため、学校との連携を図るなど、実際に足を運んでもらうような方策を検討されたい。	平成28年度	夏休み時期の展覧会において、乳幼児連れの親子や子ども同士でも気軽に観覧できる日を設定したり、学校の鑑賞教育の場を引き続き提供する等の取り組みを行っている。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市美術館

実施内容	調査方法	展覧会の会場にアンケート用紙・ボックスを設置し、来場者の意見等を収集した。
	回答者数	1,276件
	質問項目	年齢、性別、住所、交通手段、展覧会を知った媒体、来館回数、展覧会の感想、その他本施設に対する意見
結果	<p>ア 回答者の属性：</p> <p>年齢（10歳未満 1.5%、10代 4.4%、20代 6.5%、30代 8.8%、40代 18.3%、50代 20.3%、60代 20.8%、70代 13.9%、80歳以上 4.0%、無回答 1.6%）</p> <p>性別（男性 38.2%、女性 60.2%、無回答 1.6%）</p> <p>住所（市内 27.4%、県内 32.9%、都内 21.3%、その他 17.0%、無回答 1.3%）</p> <p>イ 交通手段：</p> <p>J R千葉駅より徒歩 32.4%、J R千葉駅よりバス 7.4%、J R千葉駅よりタクシー 2.0%、C-bus 2.7%、京成千葉中央駅 10.0%、モノレール 5.7%、自家用車 16.9%、自転車 3.4%、その他 8.5%、無回答 11.0%</p> <p>ウ 展覧会を知った媒体（複数回答）：</p> <p>新聞 25.4%、雑誌・ミニコミ 2.3%、テレビ・ラジオ 7.8%、チラシ 25.8%、ポスター 14.4%、市政だより 5.5%、知り合いから 9.6%、友の会・美術館ニュース 4.3%、千葉市美術館ホームページ 15.6%、その他インターネットサイト 6.9%、館に来て 2.6%、千葉市美術館ツイッター 3.8%、その他 13.5%</p> <p>エ 来館回数：</p> <p>はじめて 28.9%、2～3回 16.6%、4～5回 13.2%、6回以上 38.4%、無回答 2.8%</p> <p>オ 感想：</p> <p>大変よかった・期待以上 61.2%、よかった・期待どおり 29.9%、普通 4.2%、あまりよくなかった 0.5%、よくなかった・期待はずれ 0.9%、無回答 3.2%</p>	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

実施内容	調査方法	ギャラリー棟・別荘にアンケート用紙と回収箱・ギャラリー棟に意見箱を用意し、来館者の意見を収集した。
	回答者数	378件
	質問項目	来館日、性別、年齢、住所、利用施設、申込・受付方法、施設の管理・清掃、受付・窓口の対応、気づいた点
結果	<p>ア 回答者の属性：</p> <p>年齢（10代 8%、20代 4%、30代 5%、40代 11%、50代 13%、60代 23%、70代 29%、80代以上 7%）</p> <p>性別（男性 46% 女性 54%）</p> <p>住所（中央区 9%、花見川区 11%、稲毛区 29%、若葉区 5%、緑区 4%、美浜区 17%、その他 25%）</p> <p>イ 利用施設：ギャラリー棟 56%、別荘 44%</p> <p>ウ 申込み・受付方法：今のままでよい 96%、改善して欲しい 4%</p> <p>エ 清掃状況：</p> <p>ギャラリー棟（良い 91%、普通 9%、良くない 0%）</p> <p>別荘（良い 94%、普通 6%、良くない 0%）</p> <p>オ 窓口・受付対応：</p> <p>ギャラリー棟（良い 89%、普通 11%、良くない 0%）</p> <p>別荘（良い 92%、普通 8%、良くない 0%）</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

ア 千葉県美術館

主な意見・苦情	指定管理者の対応
エレベーターの扉の閉まる速度が速く、危険であるので改善してほしい。	扉の閉まる速度を遅くした。
展示のキャプション（説明文）で、読めないところがあるので、ふりがなをつけてほしい。	可能な限り、ふりがなをつけるようにした。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

主な意見・苦情	指定管理者の対応
展示室を利用しているが、きれいにしてあり有難い。別荘は、無料で見学できる施設の中で一番です。	今後も、来館者に対する丁寧な対応と引き続き手の行き届いた施設の維持管理を心がけていきたい。
階段が多く、高齢者はとてもきついで、エレベーターが欲しい。	足の不自由な方、高齢な方には、階段のない当館裏手職員用出入口を案内し、ご利用いただいている。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<p>【美術館】 展覧会では、平均して92.5パーセントの来館者が「大変よかった」または「よかった」との感想を持っており、満足度が高い。入場者数で見ると、「ポストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」で、25000人近い入場者があり、人気が高かった。「椿貞雄展」は、取り組んできた千葉ゆかりの作家研究の成果であり、千葉市の美術館らしい実績として評価される。一方で、夏休み期間にあたる所蔵作品展「うらがわ」では、子どもや親子をターゲットとした展示内容とイベントを開催するなど、若年層への教育普及についてあらたな試みも行い、今後の活動展開の方向性を検討する上でも有意義であった。</p> <p>【いなげ】 ・地元の新聞社やテレビ局などメディアへの積極的な広報を行ったことにより、展覧会の来場者数は昨年度と比較し3942名の増加があり、その多くが千葉市内からの来場であった。このことからより多くの市民に、千葉ゆかりの作家や子供たちの表現、稲毛地域の文化について、触れていただく機会を提供することができた。</p> <p>・稲毛の歴史や文化に関連する企画として「稲毛お話し会」「海の記憶を伝える稲毛展」の他、新規事業の「いなげ八景水彩画コンクール」および同コンクール展を開催したことで、市民の皆さまに「美術」を通して稲毛地域への関心・愛着を深めていただく機会を提供できた。</p>
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<p>【美術館】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。また、展覧会事業では「ポストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」において入場者数が計画を大幅に上回ったことや、県内外の美術館と連携した無料巡回バスの運行など新たな取り組みを行っており、利用促進に向けた取組み姿勢が伺える。一方、企画展の総入場者数は、昨年度に引き続き12万人台となったことから、今後の拡張整備も見据え、企画内容を一層魅力的なものとするなどにより、利用者数の増加や収支の改善に努められたい。</p> <p>【市民ギャラリー・いなげ】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。また、地元の芸術家や高校生の作品展示を行うなど地域文化・アート拠点として役割を十分に踏まえた取り組みが行われていることも評価できる。利用者数、施設稼働率については、昨年度同様大幅に目標値を上回っており、引き続き地域と連携した魅力ある事業の展開に努められたい。</p>
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

- (ア) 美術館の企画展について、企画力が評価されることから、引き続き内容を工夫し、美術館としての施設特性を活かした事業展開に努められたい。
- (イ) 美術館企画展の来館者層について、市外者が多いことから、市民を意識した内容についても検討されたい。
- (ウ) 市民ギャラリー・いなげのアンケート内容について、市外者の内訳が分かるよう、「その他」欄の記載方法を工夫されたい。
- (エ) さや堂の魅力発信について、口コミやSNSで話題になるような取組みを検討されたい。
- (オ) 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、今期について赤字計上であるため、収支均衡が図られるよう注視が必要だが、当面の倒産・撤退のリスクはないと判断される。